

## 論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 ( 工 学 )	氏名	LIA SADITA
学位授与の要件	学位規則第4条第1・2項該当		
論 文 題 目 Collaboration with Reciprocal Kit-Build Concept Map: An Analysis of Group Products (相互キットビルドコンセプトマップを用いたコラボレーション: グループ生産物の分析)			
論文審査担当者			
主 査	教 授	平嶋 宗	印
審査委員	教 授	金田 和文	印
審査委員	准教授	林 雄介	印
〔論文審査の要旨〕			
<p>本研究は、相互キットビルドコンセプトマップを用いた協調的学習の結果の分析を行うことで、その学習効果を検証したものである。相互キットビルドコンセプトマップでは、(1) ペアを組んだ学習者それぞれが作成したコンセプトマップを部品にした上で相手と交換し、それぞれが相手のコンセプトマップを再構成する再構成活動、および(2) 再構成されたコンセプトマップを元のコンセプトマップと比較して差分を顕在化する顕在化活動があり、その顕在化された差分に基づいてペアでの協調的学習を行うものである。本研究では、相互キットビルドコンセプトマップを用いた協調的学習を教育の場において実践し、協調的学習の結果として共同で作成されるコンセプトマップを生産物としていくつかの観点から分析を行っている。</p> <p>第1章では、本研究の背景と位置づけおよび意義について述べている。</p> <p>第2章では、相互キットビルドコンセプトマップについて概説するとともに、本研究で実施した実践授業の設定に関して説明している。</p> <p>第3章では、学習者が個人で最初に作ったコンセプトマップと、協調的学習の生産物としてペアで作ったコンセプトマップを比較し、協調的学習の効果を分析している。</p> <p>第4章では、ペアが最初に持っている知識の違いがペアの生産物としてのコンセプトマップに与える影響を分析している。</p> <p>第5章では、相互キットビルドコンセプトマップにおいて、ペアのコンセプトマップの再構成の度合いに基づくペアとしての生産物となるコンセプトマップの予測可能性を分析している。</p> <p>第6章では、これらの研究のまとめを行い、成果と課題について述べている。</p> <p>以上、審査の結果、本論文の著者は博士(工学)の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。</p>			

備考：審査の要旨は、1,500字以内とする。